

令和7年度第3学期始業式 式辞 概要

R8.1.8

令和8年がスタートしましたが、2学期終業式で伝えた、「一年の計は元旦にあり」という言葉の通り、今年の決意や目標を持ってスタートすることができたでしょうか。私は、令和8年は、**佐用高校を「クリエイトハイスクール」と掲げて、「クリエイト」すなわち、「新たに創造する、作り出す」「新たな価値を作り出す」高校を目指して、これまでの魅力も継承しつつ、大きな改革を進めたい**と思っています。

校則の見直しについても、生徒の皆さんや保護者、教職員へのアンケートを集計して、生徒会執行部を中心に見直しを進めています。まずは、防寒着についての校則は、今日から変更することになりました。詳しくは、この後の生徒指導部長の三浦先生から詳しい説明があります。今後も見直しを進めますので、**自覚と責任を持って行動をお願いします**。

さて、1月4日(日)午後8時からNHKで**「豊臣兄弟」という大河ドラマ**が始まりました。豊臣秀吉と弟の秀長が出てきますが、秀吉が藤吉郎、秀長が小一郎と言われていた頃で、秀吉が最も武士の低い位である足軽からドラマは始まっています。土曜日の昼に再放送もあります。

三大武将と言われる織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の中で一番人気は誰でしょうか？人によって違うかもしれません、一番人気は秀吉と言われます。秀吉は、水呑百姓から天下統一をしましたが、物事に執着せずに、**負けても勝っても、有頂天にならず、メソメソ後悔もしません**。

ある人が、太閤といわれた秀吉に尋ねました。「太閤様にまで出世されるには、違った心がけがあったことだと思いますが・・・」

「ワシは、太閤になろうなどと思ったことがない。草履取りの時は草履取りを一心に務めたら、足軽に取り立てられた。ありがたいことだと一生懸命仕えたら、侍になった。侍の仕事に夢中になっていると、いつしか侍大将になっていたのだ。ついに姫路城を賜った。ワシは、その職官に没頭して今日に至ったのだ。ほかに出世の秘訣は何もない」と言っています。

権利だけを主張して義務を果たさない人も多い中で、与えられた自分の立場で、ただ全力を尽くすと、新しいポストが与えられます。そこでまた自分自身を顧みて、ベストを尽くすことが大事です。

自分の与えられた職務に忠実な人は、何事にも忠実ですが、自分の職務を軽視する人は、どんな地位でも不満を持ちます。**不満を持っている人は成功しません。与えられた使命を、忠実に果たすことが成功への道である**。と、言われます。今のポスト、立場をいかに一生懸命やるかが成功の鍵です。

本校の校訓は、「自主独立」「敬愛協力」「創意工夫」の3つです。

3年生は、登校する日は20日もありません。卒業後に即社会人になる人もいます。「自主独立」のもと、「課題解決能力」と「コミュニケーション能力」を身に付けて卒業してください。来週末の大学入学共通テストに標準を合わせて冬休みも頑張っている人もいます。これまでやってきたことを振り返り、健康管理に一番に気をつけて、最後まで頑張ってください。

2年生は、来週後半には北海道への修学旅行で、楽しみにしている人も多いと思います。「創意工夫」のもと「挑戦力」と「行動力」を身に付けてください。新たなことへの挑戦、積極的に行動できる人間を目指してください。本気で自分の進路を目指して頑張る年にしてください。

1年生は、入学して9ヶ月が過ぎました。「敬愛協力」のもと、故郷を愛する「郷土愛」や、互いに対話して知識を持ち寄って協力して新たな価値を生み出す、共に創り出すとかく「共創力」を身に付けてください。

3学期は、1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるように、アッという間に過ぎてしまいます。

今年の目標をしっかりと立てて、悔いのない1年をスタートしてください。